

(別紙様式)

支部状況報告

支部名	東京 支部	所属会員	※ 名
報告作成者、役職、氏名	東京四極会理事長	奥川 隆生	
※郵送物把握会員数は約1000名。会費納入者は200名。			
1. 新体制発足 (平成30年6月1日から)			
・これまで9年間、東京四極会を運営していただいた姫野易之理事長 (S44年) が退任され、奥川隆生が新理事長に新任された。			
・役員構成は、以下の通り。			
理事長	奥川隆生 (S50)		
副理事長	大坪孝幸 (S55)		
事務局長	鶴田幾雄 (S50)		
事務局次長	下村晃 (S49)、米井晃彦 (S54)		
理事	石川公博 (S53)、西坂憲郁 (S56)、金馬弘明 (S57)、梅木俊宏 (S58)、田尻清司 (S59)、小林信彦 (S60)、千葉史 (H5)		
相談役	高橋信行 (S44)、西依章郎 (S46)		
監事	田中典明 (S48)、松岡幸秀 (S52)		
■新執行体制の考え方			
・実務目線で執行するため新体制は現役中心に組み替える。約75%が現役組。			
・2つの目標を実現する			
①組織基盤を強化再構築する→「財政基盤の立て直しが喫緊の大課題」			
- 若手中堅会員の参加増 (諸活動の見直し、学年理事会の再構築、ダイバーシティ対応、HPとFaceBookの運営見直し検討など)			
- 従前通りシニア会員の支持を維持する。全世代で支える四極会活動へ。			
②もう一段若い構成の執行体制にする			
2. 現在の諸活動内容・課題および (対応方向)			
・会報 (東京四極だより) 年2回発行、1200部/回発行・内容の見直し (マンネリ回避、若手中堅会員への紙面開放等)、発行時期の見直し (ある程度の即時性を回復)、HPとのタイアップ (SNSの活用)、発送作業、完全電子化検討			
・新年会、総会懇談会をそれぞれ2月、6月の第1土曜日に開催・若手中堅の参加増となる運営内容の検討。来年2月の新年会から見直し案を適用したい。			
・若手会員の集い 毎年8月第1月曜日に開催・若手が集まらない (やり方を抜本的に見直す)			
・東京四極囲碁会、年4回開催・特に課題なし。会の運営は順調。			
・歩こう会 年数回随時開催・牽引層の高齢化、現役会員の参加が少ない (東京四極会のHPを活用して広報)			
・東京四極会杯ゴルフコンペ・牽引層の高齢化、現役会員の参加が少ない (東京四極会のHPを活用して広報)			
以上			

* 支部の近況、問題点、本部への提案等について、出欠に係わらず、ご報告ください。整理の都合上 E-メールで送信していただければ幸いです。(E-mail: shiwasu@po.d-b.ne.jp)